



株式会社 JEPLAN に対する支援決定(出資)について

2026 年 8 月 24 日

GX 推進機構

GX 推進機構は、株式会社 JEPLAN に対する金融支援を行いました。同社は、独自のケミカルリサイクル技術によりポリエチレンテレフタレートの再資源化を手掛けており、本案件は、幅広い PET 製品の水平リサイクルの拡大を通じて脱炭素に貢献するとともに、我が国の自律性を高める危機管理投資として産業基盤を強化することが期待されます。

GX 推進機構(以下「機構」)は、株式会社 JEPLAN(以下「JEPLAN」)に対して、出資を行いました。

JEPLANグループは、国内外でも有数のポリエチレンテレフタレート(以下「PET」)の独自ケミカルリサイクル(以下「CR」)技術を有しています。同社の CR 技術は、使用済み PET ボトルを分子レベルまで分解し、不純物を除去したうえで、石油由来 PET 樹脂と同等品質の PET 樹脂を製造できるものです。従来型のリサイクル手法では、リサイクルを繰り返すことによる品質の低下が課題となる一方で、同社の技術により、再生 PET ボトルを繰り返しリサイクルに供することが可能となります。

本案件は、JEPLAN による非食品用途原料の活用拡大や CR プロセスの高度化を支援するものです。これにより、同社が目指す幅広い PET 製品の水平リサイクルの拡大が実現した場合、再生 PET 樹脂の安定供給に加え、石油資源の使用削減や廃 PET の焼却抑制を通じた CO₂ 排出削減への貢献が期待されます。

1. 事業者の概要

- ① 名 称: 株式会社 JEPLAN
- ② 本社所在地: 神奈川県川崎市川崎区扇町 12-2
- ③ 代 表 者: 高尾 正樹
- ④ 設 立 年: 2007 年 1 月 16 日
- ⑤ 主な事業内容: PET ケミカルリサイクル技術関連事業など



2. 本支援の政策的意義

① CO₂ 排出削減の観点

- ・ 政府は、GX2040 ビジョンにおいて、資源循環の促進をGXの重要施策と位置付け、産業部門の中でも排出量の多い素材産業での排出削減に加え、資源の効率的・循環的な利用を通じた資源の安定確保を目指しています。
- ・ JEPLAN が推進する PET 樹脂の CR 事業は、使用済み PET ボトルやポリエステル製品を原料として PET 樹脂へ再生することで、石油由来原料への依存低減に資するものです。
- ・ 特に、従来のマテリアルリサイクルでは有効利用が困難であった非食品用途原料を飲料用 PET ボトルに循環利用することで、石油資源の使用量や廃PETの焼却処理の抑制を通じ、CO₂排出削減への貢献が期待されます。

② 産業競争力強化・経済成長の観点

- ・ JEPLANは、PET樹脂のCR分野において国内外でも有数の技術を有しており、本支援は、我が国発の技術のさらなる競争力強化を後押しするものです。
- ・ 近年、国内外において再生材利用の需要は急速に高まっており、飲料・食品、消費財、アパレル等の幅広い産業分野で再生PET樹脂の需要が拡大しています。本事業の推進により、国内サプライチェーンにおける循環資源の活用拡大が図られるとともに、関連産業への波及効果や新たな市場創出が期待されます。
- ・ さらに、将来的な海外展開やライセンス事業の拡大を通じて、我が国産業の国際競争力向上にも資するものであり、GX分野への民間投資の呼び込みと持続的な経済成長の実現に貢献することが期待されます。

機構は、引き続き、官民協調での150兆円超のGX投資を実現するべく、GXに資する事業の推進に挑戦する企業に対して、積極的に支援してまいります。

(本発表資料のお問合せ先)

GX 推進機構 金融推進部

メール: gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。